

# 埼玉トヨペット Green Brave



## 2019 RACE REPORT

【#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC】

2019年5月25日(土)～5月26日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round3

SUZUKA GT 300km RACE

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)

### レース序盤にマシントラブルが発生し 27 位

SUPER GT 第3戦が鈴鹿サーキット(5.807km)で行われた。GT300クラスのエントリー台数は29台。土曜日(予選日)の天候は晴れ。午前中に行われた練習走行では、吉田選手が1分58秒870のタイムをマーク。Q1突破圏内(16位以内)の9位につけている。吉田選手はノックアウト予選(Q1)のアタックを担当。グリーンシグナルとほぼ同時にコースに入り、タイヤを温めながらタイミングを探す。吉田選手は前後の間隔を見極めながら、4周目にアタック。セクター1、2の区間ベストを更新しながら走行するが、タイミング悪く#17 ポルシェがコースアウト。赤旗中断となってしまう。数分の中断の後、残り時間わずか4分で再開。実質的にワンチャンスしかない緊迫した状況の中、吉田選手が前車との間隔を開けてコースイン。翌周にアタックを行う。しかし、アタック中に他のクルマに引っかかってしまい、タイムは午前中のタイムを下回る2分00秒056。予選25位となり、無念のQ1敗退となった。

日曜日(決勝日)の天候は晴れ。チームは吉田選手をスタートドライバーに起用。タイヤ交換を前提とした1ストップ作戦を実行し、入賞(10位以内)を目指すことに。予選後に行ったハンドリングの改善作業も効果を発揮しており、吉田選手も予選の不運を吹き飛ばす追い上げを約束してくれた。吉田選手はイン側から1コーナーに進入。2つ順位を上げ、22位でオープニングラップを終える。さらに前のクルマの隙を狙う吉田選手だが、3周目に「リアウイングがおかしい!」と無線で伝えてくる。近藤チーフエンジニアはピットインを即断。すぐに吉田選手をピットに呼び戻し、リアウイングの修復に取りかかる。リアウイングは羽の部分折れており、スタッフ総出でスペアのウイングに交換。修復作業に約17分を要し、吉田選手はコースに復帰する。吉田選手の順位はトップから8周遅れの29位(最後尾)。上位争いからは脱落してしまっただが、完走ポイント獲得のチャンスは残されている。8周目に再びピットイン。吉田選手はタイヤのグリップ不足を訴えており、タイヤをすべて交換。コースに復帰する。その後、吉田選手のペースは向上し、順調に周回。シケインのスタンドでスポッターを務める平沼からも「いいペース」と無線が入る。吉田選手は28周目にピットイン。脇阪選手に交代し、タイヤ交換と給油を行いピットアウトする。脇阪選手は今後のレースにつながるよう、タイヤの評価を行いながら周回。35周目にはこの日3度目となるタイヤ交換を行い、27位でフィニッシュ。完走ポイント(1ポイント)を獲得した。

結果は不本意なものだったが、あらためてレースの難しさをスタッフに教えてくれた第3戦。次戦は唯一の海外ラウンド、タイ。チーム一丸となって課題を解決し、開幕戦以来の表彰台を目指していく。



### 決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC

(脇阪薫一/吉田広樹)

決勝: 27位 (40周、1時間49分01秒275)

予選: 25位 (Q1:2分00秒056)

### GT300 決勝結果

1位: K-tunes RC F GT3(レクサス RC F GT3)	49周
2位: ADVICS マツハ車検 MC86 マツハ号(トヨタ 86 MC)	49周
3位: SUBARU BRZ R&D SPORT(スバル BRZ GT300)	49周
4位: ゴッドスマイル初音ミク AMG(メルセデス AMG GT3)	49周
5位: HOPPY 86 MC(トヨタ 86 MC)	49周
<b>27位: 埼玉トヨペット GB マーク X MC(トヨタ マーク X MC)</b>	<b>40周</b>

天候: 晴、路面: ドライ ※トップ5まで(出走29台)

前のクルマにしかけようと考えている時でした。リアの動きが軽く感じてミラーを見たらウイングが折れていました。接触したわけではないのですが、バランスがずれたのと、外れて他のクルマに迷惑をかけてもいけないので、ピットインしました。タイヤを換えた後のペースは良かっただけに、悔しいのですが、それも予選からの流れとか、いろいろなことがつながっていると思います。昨日の予選で流れをつかめなかったのは反省点です。

(吉田広樹選手)



予選をしくじると流れが悪くなります。あらためて予選が大事というのと、ウイングのトラブルがなぜ起こったのか、原因究明が必要です。完走ポイントは獲ったと思うのですが、ぼくらが組み立てていた最低限のレースはできませんでした。ブリヂストンの協力のおかげで、今後に向けたタイヤの確認ができたので、そこは良かったと思います。今回のレース、いろいろなことが起こったのですが、次の糧にしないとダメですね。

(脇阪薫一選手)



### MECHANIC VOICE

右のホイールガンを担当しました。今回はイレギュラーなことが多く、決勝中3回タイヤ交換をしました。タイヤ交換自体は前回の富士でやっているの、前回より落ち着いてできたかなと思います。序盤のピットインで、リアウイングの交換を手伝ったのですが、初めて触るところでした。だからどこを外せばいいのか、物を見ながらになってしまったので、ちょっと大変でした。結果は悔しかったですね。(浦和東支店・星野 学)



埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



株式会社アシスト・ワン



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



埼玉群スリーボンド株式会社



トヨタ部品埼玉共販株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

[次戦予告]

6月29日~30日

チャン・インターナショナル・サーキット(タイ)